

令和6年度 地域活性化人材育成事業～SPARC～全国シンポジウム
(2025, 3, 6)



MIYAZAKI
SPARC

Supereminent Program for Activating Regional Collaboration
地域活性化人材育成事業

SPARC事業の進捗状況



宮崎大学
University of Miyazaki



南九州大学
MINAMI KYUSHU UNIVERSITY



宮崎国際大学
Miyazaki International University



宮崎学園短期大学
MIYAZAKI GAKUEN JUNIOR COLLEGE

未来共創人材を育成する「SPARC未来共創教育プログラム」の構築

未来共創人材とは

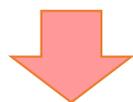
様々な人々と協働して、未来に向けた「新しい価値観」を提供できる人材

未来共創人材に必要なこと(3つの能力)

- 1 時代の変化に目を向け、柔軟に戦略・立案・意思決定ができる
- 2 事業拡大やイノベーションに挑戦し、企業や地域等を支えることができる
- 3 自ら主体的・積極的に価値を創造するチャレンジマンインドが持てる
- 4 横断的で広い視野を持ち、多様な人と繋がり、巻き込むことができる



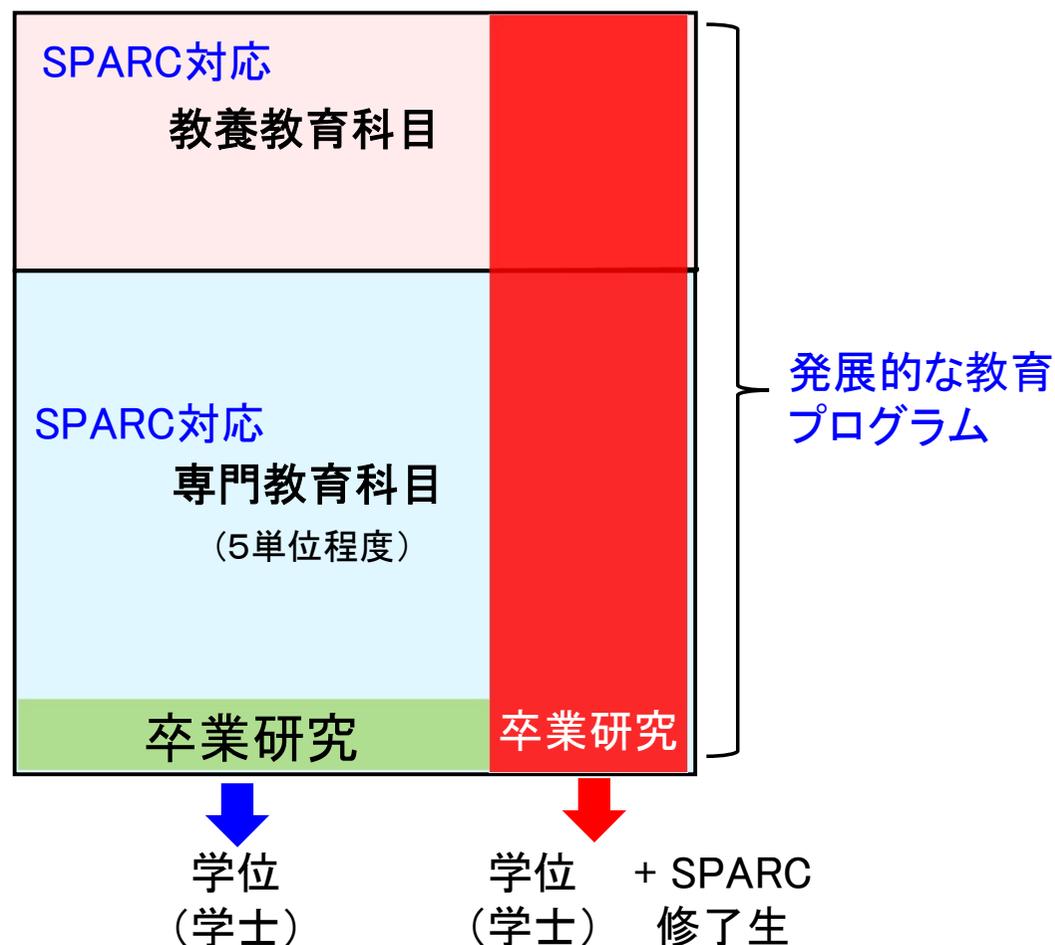
- 全学部・学科の学生がSPARC学位プログラムを修了する
- SPARC学位プログラムの中に、発展的な教育プログラム (SPARC未来共創教育プログラム)を設定している



各大学で選択された一部の学生が受講する

SPARC学位プログラム

SPARC未来共創教育プログラム



SPARC未来共創教育プログラムを受けるためには？（令和7年度開始）

3



● 宮崎大学

教育学部

教職実践基礎
コース

工学部

地域枠入試
選抜者

農学部

選抜者
(入学後選抜)

地域資源創成
学部

全学部生

医学部
看護学科

全学科生

● 南九州大学

環境園芸学部
環境園芸学科

選抜者
(入学後選抜)

健康栄養学部
食品開発学科

選抜者
(入学後選抜)

● 宮崎国際大学

国際教養学部
比較文化学科

選抜者
(入学後選抜)

● 宮崎学園短期大学

現代ビジネス科

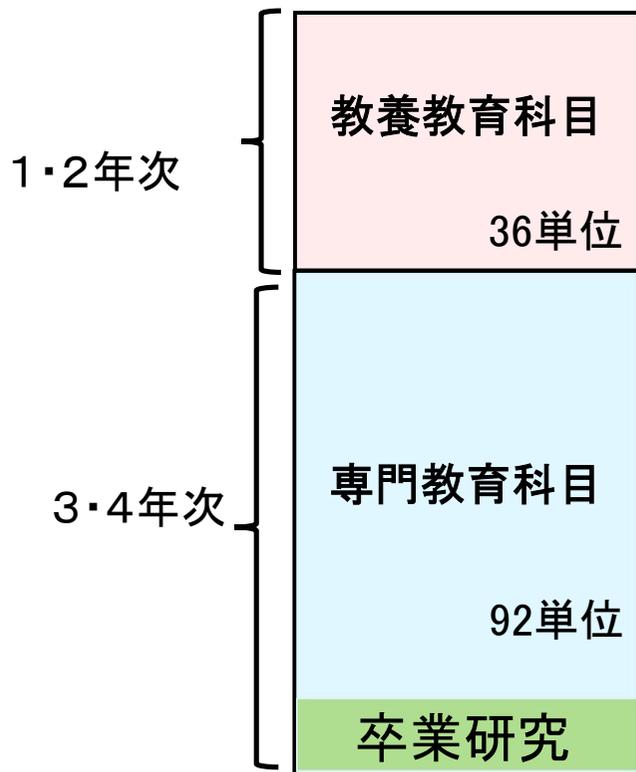
選抜者
(入学後選抜)

総勢 約280名の修了者を目指す！

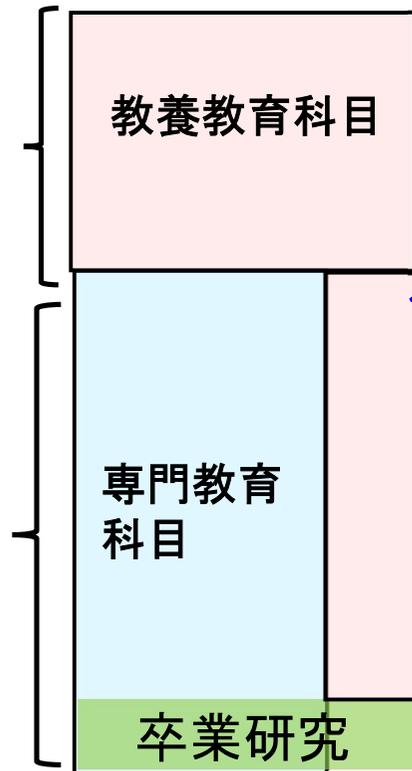
高年次(3・4年次)で受講する教養教育

従来の教育プログラム

SPARC教育プログラム



計128単位



未来共創科目

- 構想・デザイン系科目
- 協働・創造系科目

<高年次受講>

- 専門分野を学びながら、他分野の知見に触れることを通じて、より深い教養を身に付ける
- 専門分野の知識・考え方を活かして社会に役立つものはないか？
ビジネスに活かさないか？

アントレプレナーシップ教育

構想・デザイン系科目

1～2年次(低年次)

地域を見る目、能動的に
社会に向き合う姿勢・視座を
学ぶ

幅広い、長期的な視点で
社会課題に向き合う力を
磨く

地域キャリアデザイン I (キャリア)

地域キャリアデザイン I (地域)

地域キャリアデザイン I (国際)

地域キャリアデザイン I (総合知)

地域キャリアデザイン I (プロジェクト設計)

3年次(高年次)

プロジェクトをデザインする
ために必要なスキルを身に
つける

グループで革新的なプロ
ジェクトを構築する力を磨く

地域キャリアデザイン II

協働・創造系科目



2年次(低年次)

学生同士だけでなく、企業人、
地域と共創する力を磨く

企業内、地域内の具体的な
課題に対し、具体的な解決策
を提示する力を身につける

SPARCプロジェクト実践演習 I (提案型)

SPARCプロジェクト実践演習 I (実践型)

3年次(低年次)

地域を巻き込み、プロジェクトを
マネジメントする力を磨く

SPARCプロジェクト実践演習 II (共創型)

SPARCプロジェクト実践演習 II (起業型)

SPARCプロジェクト実践演習 II (事業変革型)

卒業研究(4年次)

未来共創科目では

宮崎という地域をフィールドに、地域学、アントレプレナーシップ教育、地域課題PBLを通じて、地域とともにプロジェクトをデザインし、マネジメントする力を身につけます

2系統の未来共創科目

構想・デザイン系科目



協働・創造系科目



知
行
合
一

「知」は是れ「行」の始め、「行」は是れ「知」の成るなり

SPARC学位プログラム取組要件 ～地域を学ぶ科目の設定～

- 地域社会の現状や課題を学ぶ科目、地域課題に対して主体的に参画・挑戦する学生の育成に寄与する科目



地域学 ・ アントレプレナーシップ教育 ・ 地域課題PBL

<地域学・アントレプレナーシップ>

一般修了生は、地域キャリアデザイン I (キャリア)で学ぶ

<カリキュラムマップ>

SPARC学位プログラム

未来共創
科目

専門科目

		SPARC学位プログラム							
		SPARC教育プログラム 修了生(一般)				未来共創教育プログラム 修了生			
		単位数	地域課題 PBL	地域学	アントレプレ ナーシップ	単位数	地域課題 PBL	地域学	アントレプレ ナーシップ
未来共創 科目	構想・デザイン系	2		◎	◎	4		◎	
	協働・創造系					4	◎		◎
専門科目	プロジェクト演習(PBL科目)	2	◎			2	◎		
	卒業研究						◎		

合計4単位で学ぶ

合計10単位+卒研で学ぶ

この科目は、一般のSPARC教育プログラム受講生に対して、地域学、アントレプレナーシップ教育を身につけさせる重要な科目である

地域キャリアデザイン I (キャリア) 2単位

担当教員: 杉山智行・中山 隆(共創人材育成部門)

<学習目標>

- (1) 授業で学んだことも活用し、主に大学4年分の自身のキャリアデザインができる
- (2) 自分自身で作成したキャリアデザインをもとに、キャリアについて他者と議論したり、自分の意見を表明したりできる
- (3) 宮崎県内で活躍している人の講話から、自身のキャリアデザインに必要な情報(学生生活の過ごし方、成長していくための体験、キャリアデザインしていくための姿勢など)を選択することができる

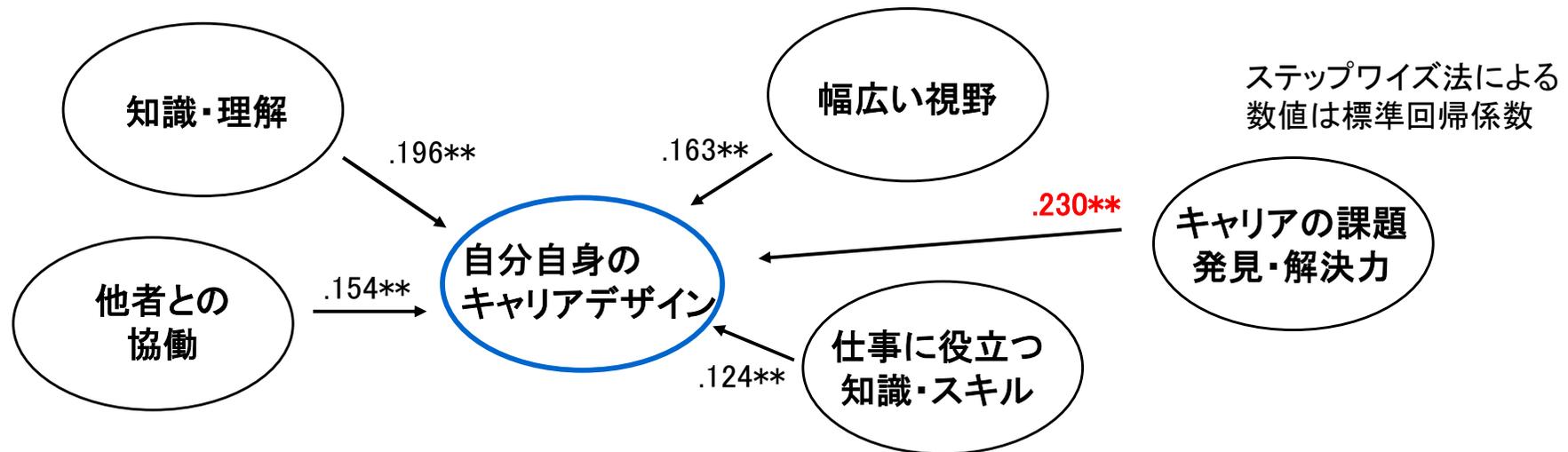
オンデマンド授業(12回)・対面授業(3回) 様々な分野の15名の外部講師

受講者数: 939名(宮崎大学1年生(教育学部・医学部・工学部・農学部))

学生による授業評価アンケートからの解析結果

＜学習目標＞

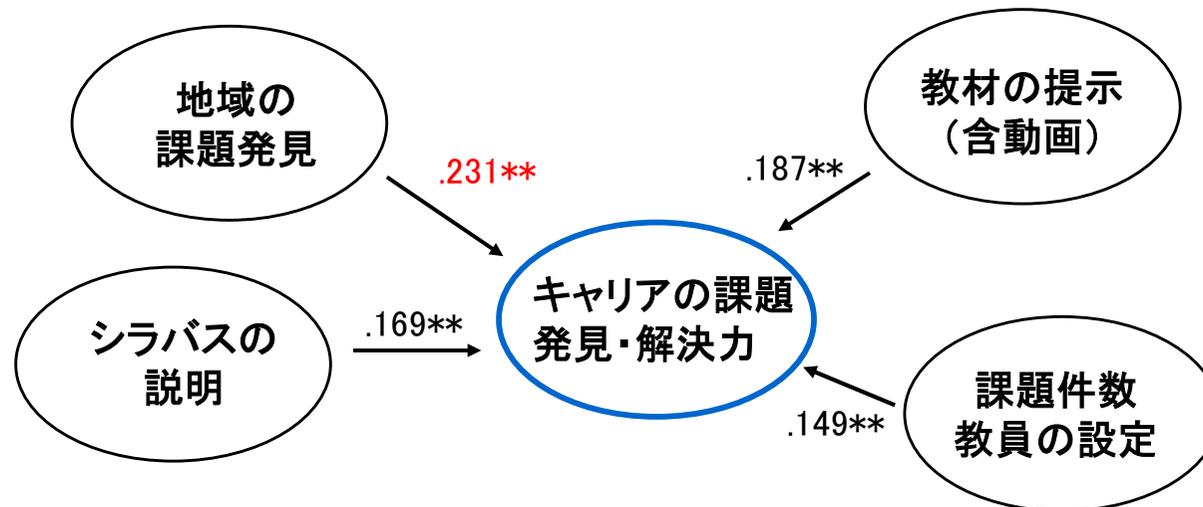
(1) 授業で学んだことも活用し、主に大学4年分の自身のキャリアデザインができる



知識・理解、他者との協働、幅広い視野、キャリアの課題発見・解決力、仕事に役立つスキルといった幅広い能力を身につけることによって達成されている。その中で、キャリアの課題発見・解決力が大きな影響を与えている。

<学習目標>

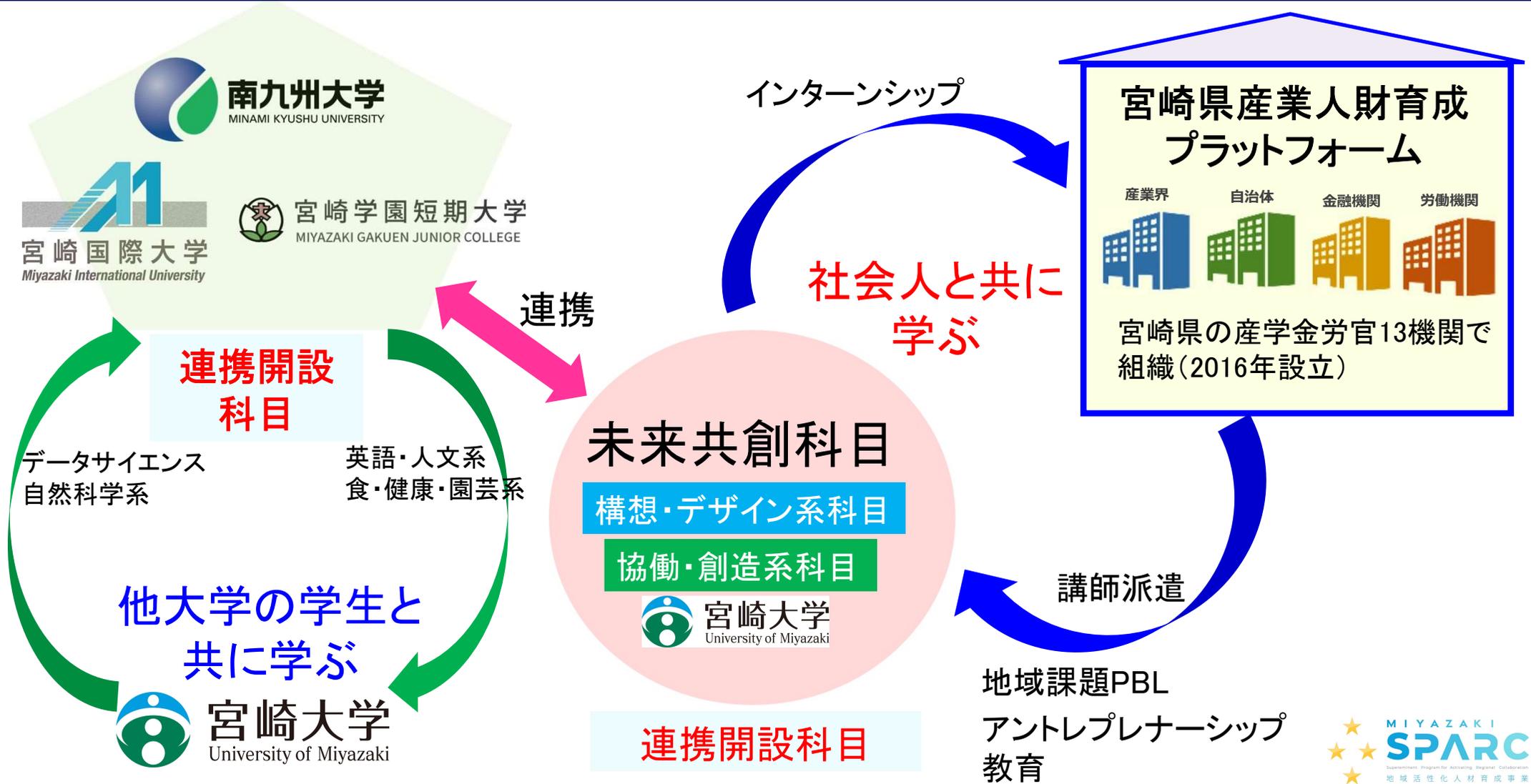
(2) 自分自身で作成したキャリアデザインをもとに、キャリアについて他者と議論したり、自分の意見を表明したりできる



ステップワイズ法による
数値は標準回帰係数

地域の課題発見、シラバスの説明、ICTによる教材の提示、教員が設定した課題件数が影響を与えている。

指導方法として、地域について主体的に考え、地域の課題を自分自身で検討する経験が、高い教育効果を発揮していることがわかった。今後も、地域をフィールドとした主体的な課題解決という実践を積極的に取り入れることが重要である。



一般社団法人 高等教育コンソーシアム宮崎



大学等連携推進法人

宮崎県立看護大学

宮崎公立大学

宮崎産業経営大学

九州医療科学大学

南九州大学短期大学部

都城工業高等専門学校

放送大学宮崎学習センター

SPARC連携大学

宮崎大学 南九州大学

宮崎国際大学

宮崎学園短期大学

<令和7年度 開設科目>

宮崎大学・担当科目	
教養教育科目	統計学基礎
	物理学の基礎
	金融リテラシー講座
	教養ドイツ語Ⅰ
	教養ドイツ語Ⅱ
	教養フランス語Ⅰ
	教養韓国語Ⅰ
	教養韓国語Ⅱ
	日向神話と神楽
	「短歌県みやざき」ことばの力と牧水入門
	亜熱帯薬食資源
	薬食同源学入門
	生活デザイン・ものづくり概論
	健幸予防医学
	プレゼンテーション技法

宮崎大学・担当科目	
未来共創科目	地域キャリアデザインⅠ(キャリア)
	地域キャリアデザインⅠ(地域)
	地域キャリアデザインⅠ(プロジェクト設計)
	地域キャリアデザインⅠ(国際)

宮崎国際大学・担当科目	
基礎教育科目	コミュニケーション英語1
	コミュニケーション英語2
	コミュニケーション英語3
言語科目	英語文学A

<計 23科目>

<令和8年度以降 開設科目>



宮崎大学・担当科目	
未来共創科目	地域キャリアデザインⅡ
	SPARCプロジェクト実践演習Ⅱ(提案型)
	SPARCプロジェクト実践演習Ⅱ(実践型)
	SPARCプロジェクト実践演習Ⅱ(共創型)
	SPARCプロジェクト実践演習Ⅱ(起業型)
	SPARCプロジェクト実践演習Ⅱ(事業変革型)

宮崎大学・担当科目	
専門教育科目 (地域資源創成 学部)	マーケティング論Ⅰ
	マーケティング論Ⅱ
	キャリアプランニング
	経営戦略論Ⅰ
	経営戦略論Ⅱ
	デザインマーケティング
	産学官連携マネジメント論
	デザインプランニング

● 現状と今後の課題

<計 14科目>

現在、開講が決定している科目は、37科目であり、KPIである40科目には近づいているほとんどの科目が、宮崎大学担当分であり、他大学の協力と理解が必要である科目の受講生数および質の高い教育を提供しているかが、大きな課題と考えている

～宮崎・学生ビジネスプランコンテスト～

宮崎県内の大学・短大・高専生を対象とした宮崎県最大規模のビジネスプランコンテスト

通称「みやざきビジコン」

参加した学生がビジネスプランをつくりプレゼンし、その新規性や実現可能性、表現力を競うコンテスト



SPARC未来共創教育プログラム受講者には、積極的に参加を促したい事業である

● 現状と今後の課題

現状は、高い評価を受けている事業である

今後、予算面の課題が多く、持続可能な事業にしていくこと方策を検討している

一般社団法人 高等教育コンソーシアム宮崎

公募型卒業研究テーマ事業

卒業研究で学生が取り組む「研究テーマ」を広く地域社会から募集し、参加機関の学生が卒業研究として地域の企業・地方公共団体等が抱える実際の問題に取り組む事業

令和5年度実績

応募団体: 16団体(企業6、自治体10)

応募件数: 36件

採択件数: 23件(採択率64%)

参加校数: 4校

SPARC未来共創教育プログラム受講者には、この事業を含め、地域に関わる内容を取り入れた卒業研究を実施する

● 現状と今後の課題

現状は、高い評価を受けている事業である

テーマ数の増加が課題である(企業等への協力、大学間での共同研究)



口頭発表の様子



ポスター発表の様子

- 各大学の学生および教員が共有で使用できる **Learning Management System (LMS)** によって連携開設科目の教育プラットフォームを提供する
- SPARC教育プログラムで修得した能力・資質を学生本人が確認できる学習成果の可視化を提供する

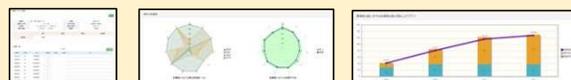
Moodle (LMS)

- 【クラス管理】 受講者 出席管理
- 【教材管理】 教材作成 教材配布 アンケート
- 【学習管理】 レポート課題 小テスト
- 【コミュニケーション】 フォーラム 通知・お知らせ



学習成果可視化システム

- 【学修情報】 デイプロマポリシー シラバス
- 【履修管理】 履修登録 成績入力
- 【学修成果】 履修状況、DPの達成度
- 【教育効果】 授業アンケート 授業実施報告



令和5年度委員現地視察報告書

【全採択事業計画共通事項】

教学マネジメントの確立や学修者本位の教育の実現の観点から、**学生の学修成果を可視化することが重要**であるとともに……、本事業計画において構築する **学位プログラムの学修成果の把握・可視化や教育改善を図ることが望ましい**



連携したLMSを活用することで、連携開設科目における学修成果の把握・可視化を目指す

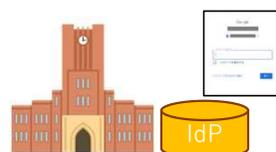
共同FD・SD活動の促進を図る

Service Provider(SP)

各大学のユーザ認証連携・学務情報共有



宮崎大学



南九州大学



宮崎国際大学



宮崎学園短大



高大連携会議
(宮崎県教育委員会・各高等学校)

SPARC教育の理解、先取り履修等の
高大接続

学位プログラム等企画・運営委員会 (産学金労官)

講師派遣、インターンシップ支援、インセンティブ支援・
教育成果の評価・点検・リカレント教育・リスキリング

～宮崎SPARCのスローガン～



地域と共に
未来を描こう

よろしくお願いします！

ご清聴、ありがとうございました！

